

新年、明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた初春を健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。

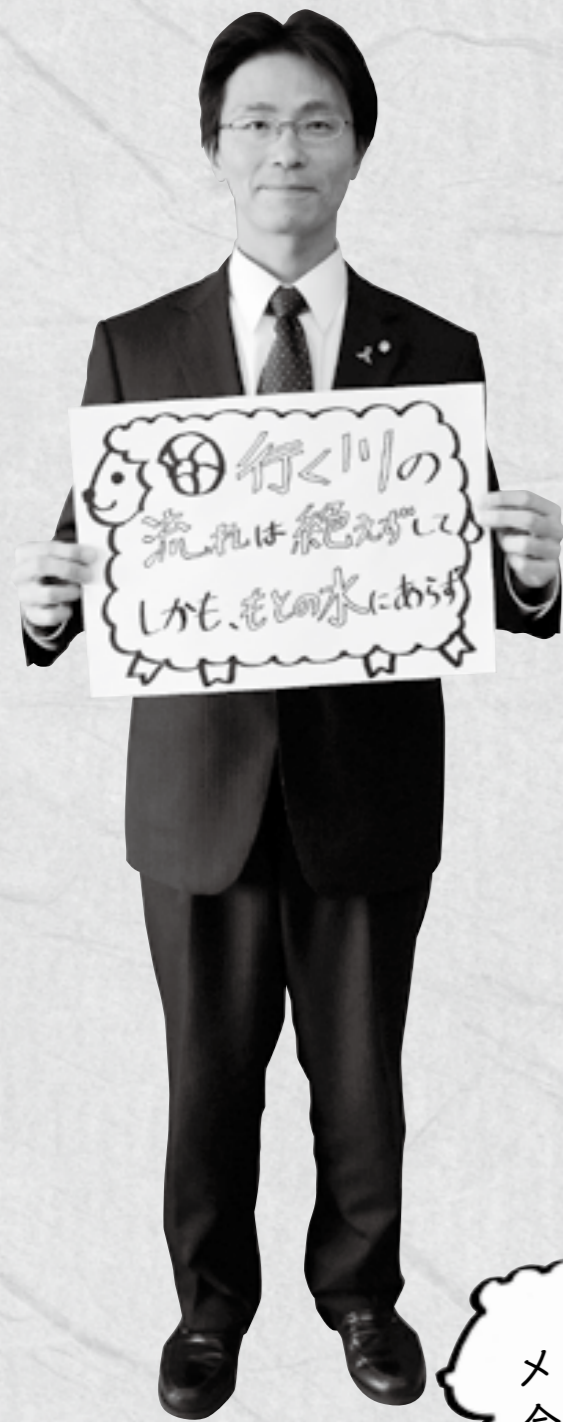
新年を迎えるというのは、足を止めてこれまでの道のりを思い起こしたり、これからの歩みに思いを馳せたりできる区切りの地点でもあります。

これは“マチ”の歩みにも重なります。一年前の大竹市はどうであったか、いくつもの異なる様子に気づきます。また、この先の大竹市の歩みに夢を抱き、覚悟を持つ場面となり得ます。

市井でも同じく、年末が近づけば心はやり、新年を迎えれば心新たにされ、年を越した感謝の気持ちがいかににじみ出られる方も大勢いらっしゃることでしょう。私たち議会も、大きな責任ある役割を担わせていただいているという感謝の気持ちを新たに、引き続き市政発展に向けて歩いていく所存です。

市議会では、今年から各地域にお伺いして皆様に議会の様子を報告させていただき議会報告会を行います。これは16人の議員それぞれが資料の準備や運営の役割を分担して開催する、これまでになかった取り組みです。開かれた議会とは何なのか。過去からの連続性を持つ議会が、長らく自問自答してきた過程の中で導き出された手段の一つとして形になろうとしています。どうぞ多くの皆様にお越しいただければと願っています。

今年は、大竹市が昨年迎えた市制施行60周年という大きな区切りから、70周年に向けた第一歩という年になります。次代に誇れる一年でありますよう、今後とも市民の皆様の温かいご支援ご協力を心からお願い申し上げますとともに、皆様にとって幸多い年となりますことをお祈りし、新年のごあいさつといたします。



大竹市議会議長  
寺岡 公章



メエー メエー  
今年ひつじ年。  
市長と議長に座右の銘を  
聞きました。

新年、明けましておめでとうございます。

これまで市政にお寄せいただきましたご支援に対し、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、人であれば選暦にあたる市制施行60周年を迎え、今年は新たな1歩を踏み出す年となります。60年を祝うにあたっては、多くの市民の皆様が自ら考え、または行政と一緒に、多くの事業を行い、まちを盛り上げていただきました。

皆様のまちへの愛情と、自分たちでまちを元気にしていこうという熱い思いに対し、心から感謝申し上げますとともにこれから未来に向かって進んでいくなかで、大変心強く感じています。

良いまちをつくっていくのは、行政の力だけではありません。大竹にかかわる全ての人心を結集して、お互いがそれぞれの役割を担うことで、はじめて成し得るものと思っております。

日本全体を見ますと、超高齢化や、少子化、そして人口減少社会と、さまざまな大きな課題が横たわっています。

本市には、美しい自然、生活の糧を得ることのできる雇用基盤、そしてまちを動かしていく人の力があります。なかなか明るい未来が見えてこない社会においても、悲観ばかりするのではなく、市民の皆様と一丸となって、少しずつでも発展し続けるまちをつくって参りたいと考えています。これからも皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

本年が平穏で素晴らしい年でありますよう、また、皆様方のますますのご多幸とご健康を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



大竹市長  
入山 欣郎